



埼玉県議会議員

岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2021年 秋号

岡地まさる県政事務所

桶川事務所

桶川市上日出谷42-73

TEL.048(780)2982

FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会9月定例会報告

大規模補正予算

1,271億6,885万円

【第10号】

段階的緩和措置に伴う補正予算

244億6,608万5千円

【第11号】

検査・医療体制、自宅・宿泊療養体制を年度末まで確保強化へ

県議会は9月24日から10月14日にかけて9月定例会が開催され、一般会計補正予算【第10号】1,271億6,885万円、及び緊急事態宣言解除後の段階的緩和措置に伴う補正予算【第11号】244億6,608万5千円の計上などを議決しました。

補正予算【第10号】の主な内容は、国の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の10月以降の実施方針」を受け、来年3月末までの検査・医療提供体制や自宅・宿泊療養体制などを確保・強化する経費として1,219億8,623万7千円が計上されました。また県内経済活動の回復とポストコロナ社会への対応として、DX推進支援ネットワークを通じたデジタル導入企業への支援や、事業再構築支援センター（仮称）の設置費用などで7,091万2千円、公共事業の追加として51億1,170万1千円が盛り込まれました。

補正予算【第11号】は、10月1日から24日までの段階的緩和措置の実施に伴うもので、飲食店等への時短要請に対する協力金（第15期）の支給などが盛り込まれています。



▲県議会副議長として議事を進行する(手前は大野知事)

DX推進支援ネットワークを通じたデジタル導入企業の支援

971万1千円

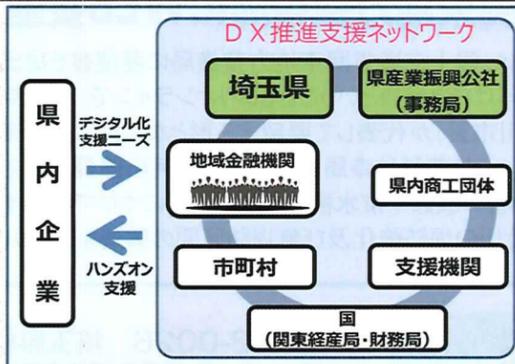
県内企業のデジタル実装を加速するため、国、県、市町村、経済団体や企業経営者との豊富なネットワークを有する地域金融機関、支援機関が相互に連携した支援体制を構築。

1 支援ネットワークの構築

国、県、市町村、経済団体、地域金融機関、県内支援機関のネットワークを形成し、デジタル化等の推進に係る情報共有を行う。

2 ウェブサイトの構築

企業のニーズを捉えて、より充実した各支援機関の先進事例集や専門家情報などの各種支援策を集約し、ワンストップウェブサイトを構築する。



エスカレーターは止まって利用! 安全利用条例が施行されました

今年の2月定例会で私たちが提案し成立しました「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が10月1日に施行されました。

県は主要駅で街頭キャンペーンを行うとともに、ポスターやPRシール、アナウンス音声データを作成して管理者へ提供し、エスカレーターを利用する全ての方々に安全利用を呼びかけています。



拉致被害者の方々の一日も早い帰国の実現に向け、皆さまのご支援を!!

副議長として日々東奔西走、日々全力



東京2020オリンピック・パラリンピック

聖火リレー セレブレーション

7月6日から8日までの3日間、東京2020オリンピック聖火リレーの到着を祝うセレブレーションが開催され、7日(会場:熊谷スポーツ公園)と8日(会場:さいたま新都心公園)のセレブレーションに出席しました。



▲熊谷スポーツ公園で行われた聖火リレーセレブレーション、聖火の点火式の様子。



▲さいたま新都心公園で行われた聖火リレーセレブレーション。聖火点火式の後、挨拶をする大野知事。

東京パラリンピック(バドミントン) 日本代表選手が表敬訪問

東京2020パラリンピック競技大会(バドミントン)に出場した埼玉県ゆかりの選手が9月27日、結果報告のため県議会を表敬訪問されました。

鈴木亜弥子選手は女子シングルス(SU5)で銀メダル、女子ダブルス(SL3-SU5)で銅メダルを獲得しました。小倉理恵選手は女子シングルス(WH2)で7位入賞、長島理選手は男子シングルス(WH1)で5位入賞しました。

県議会を代表してお祝いの言葉を贈るとともに、記念品の贈呈を行いました。

- 鈴木 亜弥子 選手(越谷市出身)
- 小倉 理恵 選手(熊谷市出身・所沢市在住)
- 長島 理 選手(鴻巣市出身)



東京パラリンピック(陸上競技、車いすテニス) 日本代表選手が表敬訪問

埼玉県ゆかりの東京2020パラリンピック競技大会日本代表選手が県議会を表敬訪問され、県議会を代表して激励の言葉を贈りました。(7月6日)

- 山崎 晃裕 陸上競技選手(やり投げ/鶴ヶ島市出身)
- 田中 愛美 車いすテニス選手(所沢市出身・在住)
- 高室 冴綺 車いすテニス選手(川口市出身)



埼玉県私学振興財団 県議会へ要望書を提出

(公財)埼玉県私学振興財団(理事長:中川進氏)が9月7日に県議会を訪れ、教育環境の改善等の要望書を提出されました。



コ・ラ・ム

日本は昨年、2050年までに温室効果ガス排出をゼロにするカーボンニュートラル達成の目標を掲げました。温室効果ガスは、私たち暮らしはもとより、地球環境にとって必要なものですが、増えすぎると地球温暖化に繋がります。この度、地球温暖化を予測する地球気候モデルの開発に尽力し、世界の環境政策に大きな影響を与えた真鍋淑郎氏がノーベル物理学賞を受賞されました。

近年、世界的に雨量が増加または減少、海面上昇や異常気象などが広がり、日本でも影響が出ています。このため、ゼロカーボンシティを表明する自治体や脱炭素に取り組む企業が増えてきました。子供たちの未来を守るために、少し便利で快適になりすぎた生活スタイルをちょっと見直し、危機意識を皆で共有しながら、ゴミを減らすなど、個々の小さな心がけと行動が大切なのではないのでしょうか。

第103回全国高等学校野球選手権 埼玉大会優勝校が表敬訪問

第103回全国高等学校野球選手権埼玉大会優勝校の浦和学院高等学校が7月30日、県議会を表敬訪問されました。

県議会から木下高志議長をはじめ高橋政雄議員と私が出席し、それぞれ激励の言葉を贈りました。



▲誓いのことばをのべる浦和学院高等学校野球部主将。

WEリーグ県内3チーム 9月の開幕を前に表敬訪問



9月に開幕しましたWEリーグ(日本女子プロサッカーリーグ)に参戦する県内の3チーム(三菱重工浦和レッズレディース、大宮アルディージャVENTUS、ちふれASエルフェン埼玉)が県議会を表敬訪問されました。

県議会からは私をはじめ埼玉県議会サッカー振興議員連盟会長の宮崎栄治郎議員、埼玉県議会アルディージャ後援会会長の田村琢実議員、埼玉県議会ちふれASエルフェン埼玉後援会会長の小谷野五雄議員が出席し、激励の言葉を贈りました。

江川改修促進協議会

埼玉県へ改修推進を強く要望

8月2日、一級河川江川の流域4市(上尾市、桶川市、北本市、鴻巣市)からなる「江川改修促進協議会通常総会」で議決しました江川の早期改修について、埼玉県へ要望書を提出しました。

当日は、上尾市の島山市長、北本市の三宮市長、桶川市の糸井議長、上尾市の大室議長、北本市の工藤議長、鴻巣市の大塚議長と、私をはじめ流域4市から選出されている7名の県議会議員も出席し、一日も早く改修が進むよう強く要望しました。



国交省関東地方整備局にWEB要望

8月4日には、国土交通省関東地方整備局に要望書を提出しました。今年はコロナ禍ということもありオンラインで、小野克典会長(桶川市長)が代表して要望する形となりました。関東地方整備局からは若林伸幸局長と塩井直彦河川部長が対応され、宮下樋管の改修や排水機場の整備などについて要望するとともに、荒川の堤防強化及び無堤防区間の解消などについても要望しました。

